

無料版

輸出相場版

ユーストカー NEWS

11月創刊号

毎月1日発行

創刊第1号 定価2,000円(税・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは

☎03-3371-9340

発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム



ミャンマー現地にて
中古車ブローカーに頼んで創刊号写真をパチリ
数日後に右ハンドル全面禁止の通達……
本紙が始まり、ミャンマー輸出が終わる
何とも皮肉な話である
彼らのこれからは大丈夫だろうか

徹底調査 行く / 行かないの理由
中古車輸出仕向国の
主要20カ国の輸入規制と
主な輸出車一覧

総力分析 主な仕向国と注意点の解説付
輸出相場の主要車種
車種別!!
分析一覧

緊急情報 ついにミャンマー★が
右ハンドル車
輸入禁止に!

中古車輸出相場の完全解明をめざして
中古車輸出の「行く」「行かない」の相場分析に特化した情報満載の「ユーストカー輸出相場版」を創刊する。
現場では「なんでこんなに高いのか?」とわからなかった中古車輸出相場を、ユーストカーNEWS 8月号から10月号で紹介したが、いよいよ本紙で16ページにわたって解説を載せていく。
本紙の2、3面では、編集時点での中古車輸出仕向国・上位20カ国の規制・税制の最新一覧を掲載した。これは、変更があれば月次で随時、更新する。
我々は現地駐在員を含む特派員をしっかりと配置している最中で、より詳細な情報をお伝えしていくだろう。
そうしたなか、今回ミャンマーの右ハンドル車輸入禁止のニュースが飛び込んできた。16面をご覧ください。
データ面の中古車の「行く」「行かない」の相場は、主要16車種に関して解説している。今までわからなかった輸出相場のからくりが、本紙を通じて理解いただければ幸いです。この相場の変化も毎号、しっかり追いかけてゆく。
本紙の新規お申し込み、または追加お申し込みは15面をご覧ください。

国内から海外へ、USSグループのグローバルネットワーク

中古車オークション
札幌会場
東北会場
新潟会場
群馬会場
東京会場
埼玉会場
横浜会場
静岡会場
北陸会場
名古屋会場
R名古屋会場
大阪会場
神戸会場
JAA
岡山会場
四国会場
福岡会場
九州会場
HAA神戸

国内輸送サービス
USS JAPAN
CIS
来場落札

中古自動車の輸出手続サービス

中古車輸出主要仕向国トップ20

順位	仕向国	備考	ハンドル規制		製造年規制	登録年規制	その他規制	関税	主な輸出車種
			左	右					
1	UAE	タンザニア、ソマリア、エチオピア、イエメン、アフガニスタン、イラク、イラン、サウジアラビア、インド、パキスタン、ケニア、ウガンダ、南アフリカ、アンゴラ、南スーダン、etc. ※ UAEへ輸出された車両の多くは上記のアフリカ諸国や中東へ再輸出されるが、左ハンドル車などは UAEへも輸出可	○	× 再輸出のための DUCAMZ (フリーゾーン) 輸入は規制なし	なし	なし	<メーター改ざん車輸入>○ ※ DUCAMZ 内への再輸出車両も含め可 <事故車輸入>○ ※ DUCAMZ 内への再輸出車両も含め可	■ CIF 価格の5% ※再輸出用は免税。ただし輸入時に5%相当のデポジット預託が必要	■ プラッツ (SCP11) ■ カラセツ (NZE120) ■ ハイパソン (100/200系) ■ レジアス (100/200系) ■ ハイラックス (210系) ■ タウンエバン (40/50系) ■ キャロバン (E24)
2	ニュージーランド		×	○	■ なし (排気ガス基準規制により 2005 年前生産車実質不可)		■ 横滑り装置の段階的導入 <メーター改ざん車輸入>× <事故車>△ ※修復歴車には日本の輸入検査の段階でフラグが立つ。NZ 側でのコンプライアンス検査で NZ 基準によって修理の必要あり	■ 9人乗り普通自動車までは関税なし	■ ティータ (C11) ■ ノト (E11) ■ ウィッシュ (ZNE10) ■ ウィッシュ (SCP90) ■ スイフト (ZC715) ■ プリウス (ZVW30) ■ マークX (GRX120) ■ ティモ (DE3F5)
3	ミャンマー	■ 2018年に右ハンドル車輸入禁止		△ 年式による	■ 乗用車 ・ 1300cc 以下: 2011 ~ 17年 (15年~左ハンドルのみ) ・ 1350cc 以上: 2011 ~ 14年車 (右ハンドル) ■ トラック: 2007 ~ 14年 (右ハンドル可)		<メーター改ざん車輸入>○ <事故車輸入>○	■ フィット HV GP2: 8,320 ~ 12,080 ■ フィット GE6: \$6,680 ~ 8,730 ■ フィット GK3: \$8,730 ~ 9,700 ■ ウィッシュ ZGE20系: \$9,440 ~ 13,700 ■ カラセツ NZE141: \$7,850 ~ 8,970 ■ カラセツ NRE160: \$8,970 ~ 11,390 ■ ハイパソン TRH214W、TRH224W: \$13,200 ~ 19,160 ※単位: USドル	■ キャリットトラック (DA63T) ■ ハイゼットトラック (201P/S211P/S200P/S210P/S500P) ■ ミニキャブトラック (U61T) ■ クリッパー (U71T) ■ フィット HV (GP2)
4	チリ	ボリビア パラグアイ ※チリに輸出された車両はボリビアとパラグアイに再輸出	-	-	-	-	-	-	
5	ケニア	■ 輸出前検査 QIS	×	○			<メーター改ざん車輸入>○ ※ AA 出品票などの数値と実際の走行数値に矛盾がないこと ※日本で輸入検査会社が定期的にサンプルを抽出、NG 車が発生するケースあり <事故車輸入>○	■ プロボックス (NCP50V/NCP51V): 179,131 ~ 567,248(2010 ~ 17) ■ プラト (TRJ150): 790,198 ~ 2,502,292(2010 ~ 17) ■ イストレル (NT31): 489,931 ~ 1,306,483(2010 ~ 15) ※単位: ケニアシリング (約 1.1 円)。 ※カッコ内は製造年	
6	パキスタン		×	○			<メーター改ざん車輸入>○ <事故車輸入>○	■ 軽商用車: 267,423 ~ 534,845 (2012 ~ 17) ■ 軽乗用車: 347,649 ~ 534,845(2014 ~ 17) ■ 1000ccFF 乗用車 (G): 437,269 ~ 672,722(2014 ~ 17) ■ 1500ccFF 乗用車 (G): 1,341,156 ~ 2,063,317(2014 ~ 17) ■ 1500ccFF 乗用車 (HV): 670,579 ~ 1,031,659(2014 ~ 17) ■ 1800ccFF 乗用車 (HV): 1,003,494 ~ 1,543,837(2014 ~ 17) ※単位: パキスタンルピー (約 1.08 円)。 ※カッコ内は製造年	
7	南アフリカ	ジンバブエ ボツワナ ナミビア ザンビア ※南アフリカへ輸出された車両の多くは上記のアフリカ諸国へ再輸出	-	-					
8	ロシア		○	○	なし	なし	■ 緊急通報機器 (グロノステップ) 設置義務 ■ 放射線測定検査 <メーター改ざん車輸入>○ <事故車輸入>○ ※自走可能であること	調査中	
9	モンゴル	■ 輸入後検査あり	△ バス・タクシー左のみ○	○	なし	なし	<メーター改ざん車輸入>○ <事故車輸入>○	■ プリウス NHV20: 5,753,022 ~ 1,425,430(2003 ~ 11) ■ プリウス (ZVW30): 3,521,001 ~ 2,873,838(2009 ~ 15) ※単位: トググ (約 0.05 円)。カッコ内は製造年 ※課税額は CIF がベースになるため 20 は ¥212,000 ~ ¥457,000、 30 は ¥646,000 ~ ¥1,348,000 で計算	

有料版で見ることができます。

有料版で見ることができます。

【表の見方】

- 仕向国** : 月ごとの中古車輸出台数に沿ったランキング (財務省による実績発表のタイミングにより本紙発行の約2ヵ月前の実績) ただし今号は、調査の関係から輸出実績とは異なる順位になっている
- 備考** : 輸出前/輸出後検査の有無と検査機関、あるいは中古車輸出に関わる現地のニュースなどを掲載
- ハンドル規制**: 右ハンドル車/左ハンドル車の輸入の可否
- 製造年規制/登録年規制**: 中古車の輸入を車齢で制限する場合、車両の製造年をベースにカウント
- する国 (製造年規制) と、初度登録年月を起点にカウントする国 (登録年規制) がある「なし」とあるのは規制がないの意
- その他規制** : メーター改ざんが発覚した車両の輸入の可否、事故修復歴車の輸入の可否、そのほか当事国独自の規制がある場合はそれを記載
- 関税** : 中古車を輸出した場合に必要な税金。新しい車両ほど高い税率を課す国と、古い車両ほど関税が高い国があり、これが日本の中古車相場に大きく影響している
- 主な輸出車種**: 本紙調査による輸出車種

「厳正と安心」

エー・イー・イーは、「厳正・安心」を重んじる姿勢で企業活動を進めてきました。会員みなさまにカービジネスのチャンスをもっと多くご提供できるオートオークション開催を実現、新たな中古車流通の活性化を図り、自動車流通業界の発展に貢献していくことを経営理念に掲げ、日々研鑽を続けています。



株式会社シティライト 〒663-8155 兵庫県西宮市甲子園浜2-16 TEL: 0798-49-3900



主要車種の輸出相場一覧①

ランドクルーザー (URJ202W)
H24年後期～27年前期



■主な仕向国
パキスタン
■輸入ルール

※検索条件
・製造年 2012～2015
・AA 開催期間：2017/9/20～10/20
・販売期間：H24/1～27/8
・グレード「ZX」
・価格の高い順に並び変え

Table with columns for model, year, engine, transmission, color, and price. Includes a search filter interface at the top and a summary table at the bottom.

● ランクルは同一モデルでも
400万～700万円以上と、300
万円以上の開きがある

★ 有料版で見ることができます。
お申し込みは15面

● 年をまたぐと2012年が行か
なくなるので、直近AAでは2012
年は安めに推移か？

● 装備でかなり金額が変わる。
高くなる要因の装備は以下の通
り

★ 有料版で見ることができます。
お申し込みは15面

● パールホワイトのアイボリー革
の上記装備全部付きだと2012
年(これからは2013年?)が
700万円を軽くオーバーしてい
る

● 400万円のものは装備がほとん
どついていない

● ちなみに製造年ごとにAA平均
価格を出してみた。
(6ヵ月平均)
2015年は他国行の関係もあり
2014年より若干高いが、2014
年→2012年と、古くなるにつ
れ高くなるのがわかる

Summary table titled '平均値画面 (製造年別)' showing average values for years 2012, 2013, 2014, and 2015.

● 有料版では、このマスクが外されたものとなります。
本紙の新規お申し込み、または追加のお申し込みは、15面をご覧ください。

緊急情報

ついにミャンマーが右ハンドル車輸入禁止に!



ミャンマーで日本車の争奪戦始まる?

ミャンマー政府が10月16日、2018年の自動車輸入規則を発表した。17年は一部乗用車と軽を含むトラックで右ハンドルの輸入が認められていたが、来年はついに全面禁止となる。

日本の中古車の輸出先として、昨年は台数ベースで12万4000台規模、UAEに次ぐ2位に位置していたミャンマーだが、17年はトラックと一部乗用車に限り、右ハ

ンドル車の輸入を許可する輸入制限を強化。18年については「トラックに限って来年も右ハンドルの輸出は可能なのでは」との憶測も流れたが、今回の発表で中古車流通業者の望みは完全に打ち砕かれた格好だ。

今回、明らかになった18年輸入規制によると、現地中古車業者による委託販売の場合は乗用車、トラック、バスすべてが14、18年生産車、個人の場合はバスを除いて16、18年生産車に限って輸入が認められる。しかし、

今回の発表を受け、現地の中古車販売業者の間では、政府に対して規制緩和を訴える嘆願書を提出する動きがある。業界筋では嘆願書に「縷の望みを託す一方、ミャンマー国内において日本製右ハンドル中古車の相場が急騰するとの思惑から、日本車の在庫を持つ現地中古車業者の間では早くも売り控えの動きがあるという。

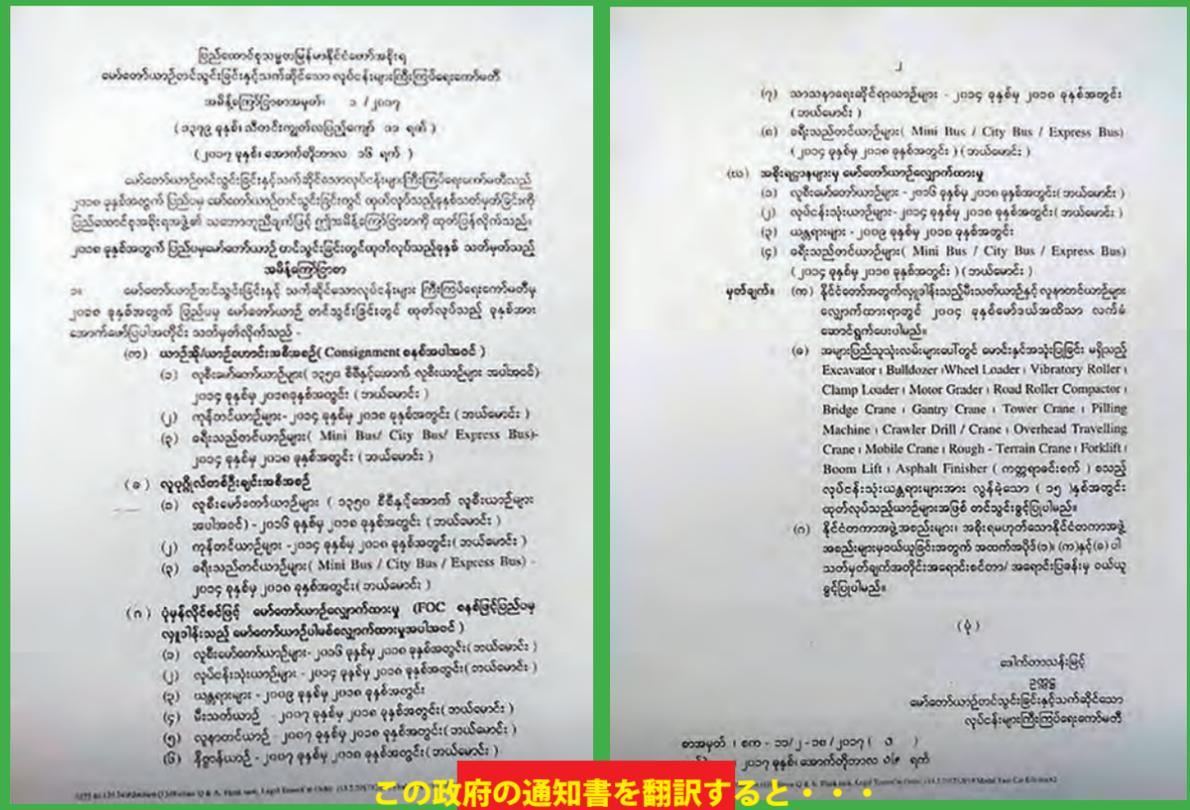
今後は現地輸入業者の輸入可能。新規ライセンスは発行しないため、ごくわずかの台数に限られる。今回の発表を受け、現地の中古車販売業者の間では、政府に対して規制緩和を訴える嘆願書を提

ンマーは、日本から輸入された右ハンドル中古車が大量に走っており、交通事故の原因として問題視されている。だが、これに加えて今年のトラック輸入関税が、中国製に設定されるなど、背景には政府の中国寄りの政策があることは否めない。

だが、ミャンマーの消費者の間では「車を買うならアジア製新車よりも質の良い日本製日本車の中古」との認識が一般化しており、例えばASEAN

AN諸国で生産された日系メーカーの日本車ですら敬遠されているのが実情なのだ。今回の規制の発表で、この日本車文化が本当に終焉するのか本紙ではしつかり追跡していく。

いずれにしても、本紙では、これまで日本の中古車を大量に受け入れて日本の中古車流通に貢献してくれた同国に対し礼を言いたい。「ミャンマー、今までありがとう！」



この政府の通知書を翻訳すると...

■ミャンマー 2018 年の中古車輸入年式

中古車輸入年式 (コンサインメントシステム)

- 1. 乗用車
 - 2016~2018年製、左ハンドル
 - 2014~2018年製間=左ハンドル
- 2. トラック
 - 2014~2018年製まで、左ハンドル
- 3. ミニバス、路線バス、高速バス
 - 2014~2018年製=左ハンドル

海外からの寄贈

- 1. 乗用車
 - 2016~2018年製、左ハンドル
- 2. トラック
 - 2014~2018年製、左ハンドル
- 3. 建設機械
 - 2009~2018年製
- 4. 消防車
 - 2007~2018年製、左ハンドル
- 5. 救急車
 - 2007~2018年製、左ハンドル
- 6. 霊柩車
 - 2007~2018年製、左ハンドル
- 7. 宗教関係の車両
 - 2014~2018年製、左ハンドル
- 8. ミニバス、路線バス、高速バス
 - 2014~2018年製=左ハンドル

個人輸入

- 1. 乗用車
 - 1,350cc以下の車入り、2016~2018年間=左ハンドル
- 2. トラック
 - 2016~2018年製、左ハンドル
- 3. ミニバス、路線バス、高速バス
 - 2014~2018年製=左ハンドル

ミャンマー政府用

- 1. 乗用車
 - 2016~2018年製、左ハンドル
- 2. トラック
 - 2014~2018年製、左ハンドル
- 3. 建設機械
 - 2009~2018年製
- 4. ミニバス、路線バス、高速バス
 - 2014~2018年製=左ハンドル

◆ミャンマーでは中古車の輸入規制について、これまで何度も大きな変更があった。しかし、変更内容の公示は印刷物が担当省庁の壁に貼られるだけで、公式ウェブサイトに掲載するなどのサービスは行われていない。このため中古車流通業者は「お役所詣で」が欠かせない状況だ。

「右ハンドル」の文字は1つも見当たらない.....

ミャンマー、今までありがとう!



信頼の30年、その先の信頼へ。

今後も「お客様目線に立ったオークション運営」をモットーに、ライオットオークションのメンバーで良かったと思ってもらえるよう努めてまいります。